

令和5年度とよたシニアアカデミー通年コース 文化工芸学科 11月の講座紹介

今月は、2回に渡って俳句に挑戦しました。17音に季語を含めて風景を表現するのは、簡単ではありませんが、苦勞して一句作りあげた時の喜びは格別です！また、いしかわ製茶さんの茶畑では、こだわりを持ってお茶づくりをする農家の心意気に胸を打たれ、豊田のお茶を沢山飲もうという声も聞かれました。

俳句を楽しむ①② 11月1日、15日（水）



3班による初めの挨拶



講師：山村博保氏



仲間の作品を味わいます



俳句を初めて作る人、あれっ？こんなに多い

受講生の感想（抜粋）

<1回目>・風景や情緒、自分の思いを短い言葉でまとめるのは簡単なようで難しい。先生の言われたように、毎日日記のように書き、慣れる事から始めるのが良いのかなと思いました。

・40代の頃、本を読んでトライしたが難しく入っていけなかったが、今回は、先生の優しい手ほどきで楽しく学べました。

<2回目>・今回は句会形式で、俳句の素晴らしさを感じ、句作で大切なことを知る時間になりました。景色・情景、遠近感、立体感、色彩感、音感、わくわく感、ほんわか感などを醸し出すと、自分の思いを上手く表現でき、人を引き付ける俳句にもなると思いました。



講義の最後に、自作の句を短冊に清書

豊田の美味しいお茶 11月8日（水）



末野原交流館での講義風景



講師：石川龍樹氏



道路から見える一面のお茶畑



ここにあるのは紀州徳川家由来の樹です



石川さんのご厚意でお茶をいただきました



受講生の感想（抜粋）

・いしかわ製茶さんのSDG'sに対する地道な努力と取組みに感心した。近くでこの様に熱心に活動している人がいる事を知り、自分も応援したいと思った。オーガニックの知識も得られて良かった。「自分がされて嬉しかったことを次につなげて行く」という言葉が胸に響いた。

・講師の石川さんから豊田のお茶栽培の大変さや、外国を含めた販売先確保の苦勞について並々ならぬ情熱で取組まれた話を聞け、感動的な時間を持つことができた。

・「将来の夢は農業」、そのような若者が増えると良いなと思いました。



広いお茶畑で説明を聞きました

ウォーキング帰りの夜道虫の声 民枝	長篠に向かう車窓や曼珠沙華 茂子	懐かしい顔の集いし芋煮会 達	紙ふぶきかけ寄る幼な子秋祭り 恵理子	手のばすリンゴの向う伊那の空 まなみ
----------------------	---------------------	-------------------	-----------------------	-----------------------

受講生の作品一部紹介